

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第32期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第2四半期 累計期間	第32期 第2四半期 累計期間	第31期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,691,671	3,523,560	7,109,114
経常利益(千円)	154,970	48,269	209,364
四半期(当期)純利益(千円)	72,614	13,101	71,783
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金(千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数(株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額(千円)	1,407,483	1,378,149	1,408,422
総資産額(千円)	3,924,790	3,977,456	3,786,415
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	50.22	9.06	49.65
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	30.00
自己資本比率(%)	35.9	34.6	37.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	272,764	93,192	454,875
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,496	168,509	57,596
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	151,377	102,343	342,708
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	322,934	281,648	254,621

回次	第31期 第2四半期 会計期間	第32期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	26.94	13.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復に向かっているものの、欧州債務危機や長期化する円高などから依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましても、生活防衛意識の高まりから、外食控えや利用店舗の選別が行われるなど厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社は爆弾ハンバーグの販売強化を中心に取り組んでまいりました。具体的には平成24年4月より「爆弾祭」を実施し、また、爆弾ハンバーグの提供方法の改善等に取り組みました。

出退店につきましては、当第2四半期累計期間中には行いませんでしたので、当第2四半期末の店舗数は前期末と変わらず67店舗でした。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、「爆弾祭」や「柑橘デザートフェア」・「奥秩父源泉純氷かき氷」・「真夏のメロンデザート」等の季節のデザートフェアを行ったものの、お客様の来店増にはつながらず、売上高は3,523,560千円(前年同期比4.6%減)となりました。また、経費の削減に努めたものの売上の減少分を補いきれず、当第2四半期累計期間の営業利益は49,792千円(前年同期比69.3%減)、経常利益は48,269千円(前年同期比68.9%減)、四半期純利益は13,101千円(前年同期比82.0%減)となり減収減益となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて27,027千円増加し、281,648千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

##### 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は93,192千円(前年同期比65.8%減)となりました。これは主に税引前四半期純利益54,639千円及び減価償却費97,425千円を計上したことによるものであります。

##### 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は168,509千円(前年同期は1,496千円の獲得)となりました。これは主に栃木工場の建設等による有形固定資産の取得による支出176,821千円を計上したことによるものであります。

##### 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は102,343千円(前年同期は151,377千円の使用)となりました。これは主に栃木工場建設資金である長期借入による収入350,000千円を計上したことによるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

#### (5) 主要な設備

前事業年度末において計画中でありました主要な設備の新設につきまして、栃木工場が当第2四半期会計期間中(平成24年8月)に計画通り竣工引渡しとなっております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

## (6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.73
有限会社アクティヴ	群馬県桐生市新宿1丁目11-8	120,960	8.35
フライング・ガーデン持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4-18	74,716	5.16
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.56
穴見保雄	大分県大分市	56,092	3.87
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.74
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.57
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
兵頭健一	栃木県宇都宮市	18,200	1.26
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194番地	14,400	0.99
計	-	901,550	62.21

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,300	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,422,300	14,223	同上
単元未満株式	普通株式 23,568	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,223	-

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フライングガーデン	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号	3,300	-	3,300	0.23
計	-	3,300	-	3,300	0.23

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	営業部門管掌	常務取締役	内部統制担当兼内部監査室長	長野 令	平成24年7月1日
取締役	商品開発部長	取締役	商品部長兼商品開発担当部長	本城 弘	平成24年7月1日
取締役	購買外販部長	取締役	営業部長	宮村 哲也	平成24年7月1日
取締役(社外)	内部統制管掌	取締役(社外)	-	関根 則次	平成24年7月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について監査法人A & Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	561,621	576,648
売掛金	26,219	24,236
原材料	28,282	27,395
その他	172,225	128,436
流動資産合計	788,349	756,717
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,235,620	3,492,950
構築物	797,831	828,070
その他	872,361	888,222
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,107,950	3,198,523
有形固定資産合計	1,797,863	2,010,719
無形固定資産	186,007	186,230
投資その他の資産		
差入保証金	536,754	520,337
その他	519,693	544,002
貸倒引当金	42,253	40,550
投資その他の資産合計	1,014,194	1,023,789
固定資産合計	2,998,065	3,220,739
資産合計	3,786,415	3,977,456
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	208,792	189,714
短期借入金	140,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	270,396	307,296
未払金	286,660	404,209
未払法人税等	48,467	32,229
ポイント引当金	8,260	9,570
賞与引当金	30,084	33,084
その他	148,377	123,554
流動負債合計	1,141,038	1,189,657
固定負債		
長期借入金	820,378	983,322
退職給付引当金	99,915	103,241
役員退職慰労引当金	140,098	142,588
資産除去債務	106,878	116,304
その他	69,683	64,193
固定負債合計	1,236,954	1,409,649
負債合計	2,377,993	2,599,306

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	337,783	307,511
自己株式	5,443	5,443
株主資本合計	1,408,422	1,378,149
純資産合計	1,408,422	1,378,149
負債純資産合計	3,786,415	3,977,456

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第 2 四半期累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	3,691,671	3,523,560
売上原価	1,153,873	1,097,914
売上総利益	2,537,797	2,425,646
販売費及び一般管理費	2,375,478	2,375,853
営業利益	162,319	49,792
営業外収益		
受取利息	1,933	1,745
受取配当金	82	-
受取賃貸料	14,187	18,415
その他	3,550	5,509
営業外収益合計	19,754	25,670
営業外費用		
支払利息	12,749	10,762
賃貸収入原価	10,345	13,627
その他	4,007	2,804
営業外費用合計	27,103	27,194
経常利益	154,970	48,269
特別利益		
受取補償金	-	6,370
特別利益合計	-	6,370
税引前四半期純利益	154,970	54,639
法人税、住民税及び事業税	16,501	22,590
法人税等調整額	65,853	18,947
法人税等合計	82,355	41,538
四半期純利益	72,614	13,101

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	154,970	54,639
減価償却費	102,933	97,425
受取補償金	-	6,370
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,668	1,702
ポイント引当金の増減額(は減少)	1,317	1,310
賞与引当金の増減額(は減少)	4,979	3,000
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,212	2,489
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,354	3,326
受取利息及び受取配当金	2,015	1,745
支払利息	12,749	10,762
売上債権の増減額(は増加)	715	1,983
たな卸資産の増減額(は増加)	3,324	887
仕入債務の増減額(は減少)	7,488	19,078
未払金の増減額(は減少)	4,219	6,355
未払費用の増減額(は減少)	6,071	8,672
未払消費税等の増減額(は減少)	16,062	26,584
その他	26,249	744
小計	325,444	136,114
利息及び配当金の受取額	180	80
利息の支払額	12,114	10,162
補償金の受取額	-	6,370
法人税等の支払額	37,607	39,249
法人税等の還付額	69	40
災害損失の支払額	3,207	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	272,764	93,192
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	181,000	181,000
定期預金の払戻による収入	193,000	193,000
有形固定資産の取得による支出	15,124	176,821
無形固定資産の取得による支出	2,280	4,529
差入保証金の差入による支出	-	1,364
差入保証金の回収による収入	19,438	18,844
その他	12,537	16,638
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,496	168,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	50,000
長期借入れによる収入	250,000	350,000
長期借入金の返済による支出	155,441	150,156
リース債務の返済による支出	3,958	4,146
自己株式の取得による支出	9	-
配当金の支払額	41,968	43,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,377	102,343
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	122,883	27,027
現金及び現金同等物の期首残高	200,051	254,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	322,934	281,648

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
消耗品費	114,695千円	123,849千円
給料・賞与	368,147	357,413
賞与引当金繰入額	30,084	33,084
雑給与	763,525	751,928
役員退職慰労引当金繰入額	2,397	2,489
退職給付費用	7,200	6,917
地代家賃	281,426	277,381
水道光熱費	231,066	259,944
減価償却費	101,713	95,215

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	617,935千円	576,648千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	295,001	295,000
現金及び現金同等物	322,934	281,648

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	43,375	30.0	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	43,373	30.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略します。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	50円22銭	9円6銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	72,614	13,101
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	72,614	13,101
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,858	1,445,780

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月7日

株式会社フライングガーデン  
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 笹本 憲一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加賀美 弘明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第32期事業年度の第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。